

活動団体： 公益財団法人 PHD 協会

～平和と健康を担う人づくり～

団体の活動



Peace(平和)、Health(健康)、Human Development(人づくり)の頭文字をとって名づけられた、草の根の人々による国際交流・協力の活動をしている団体です。アジア・南太平洋の地域の未来を担う青年を研修生として日本に招き、農業、保健衛生、教育などの研修を行い、帰国後も彼らのフォローアップを行うことを通じて、草の根の地域・人づくりと生活向上に協力します。

<http://www.phd-kobe.org/>



海外研修にてミャンマーの元研修生と再会



大学にて NGO 職員になるまでのキャリアを伝える様子

インターンプロフィール

井上 遼香



大学時代にカンボジアで教育活動をする学生団体を設立。日本語指導ボランティアとして4カ月間カンボジアに滞在。大学卒業後は金融業界へ就職。数年間胸の内に秘めた国際協力への思いが溢れ、当団体へ入職。

所属団体で活動するきっかけ

日本で働くカンボジアの友人たちが日本での生活は辛くて苦しいと言っているのを耳にし、多文化共生社会の実現を強く願うようになりました。「共に生きる」という当団体の理念に共感し応募しました。

どのような業務(活動)をおこなっているか

広報・啓発担当として、年3回の会報制作やその他広報物制作、寄付金の入金管理・領収書発行、SNS 管理などをおこなっています。寄付金管理担当として連日当団体に届く支援者様からの温かい寄付を一番近くで感じているため、感謝の気持ちを会報や SNS を通じて発信するようにしています。また、広報活動の一環として、国内の研修先を訪問し、海外研修では元研修生へのインタビューを実施しています。これにより、支援者の獲得や国際理解の促進を目指しています。

1年目を終えて感じたこと

日々の活動を通じて、「人と人が出会い、心と心が触れ合う」といった草の根レベルの活動がいかほど大切であるかを実感した1年でした。今後も人との出会いを大切にしながら NGO 職員として歩んでいきたいと思っています。

スキルアップのためにしていること

デスクワークが多い職種ですが、1年目より外に出向くようにしています。自分の目で見て肌で感じたことを、広報物に反映させるよう心掛けています。また、NGO インターン・プログラム生の事務所訪問などを通じて情報交換を行い、視野を広げるよう努めています。

海外研修について ～どこで何を行う予定？

6月にミャンマーを訪問し、元研修生たちのフォローアップや来年度研修生の選考を実施しました。8月にはネパールとカンボジアを訪問予定で、元研修生たちのフォローアップ、来年度研修生選考、貧困地域の視察などを行う予定です。

今後のビジョンは？

1年目に引き続き、広報・啓発担当として、会報や SNS 発信、寄付金の管理などを通じて、支援者と持続的な関係を築いていきたいと考えています。また、若い世代にも国際協力に関

心を持ってもらえるような啓発活動も展開したいです。

国際協力分野で活動を目指す人へのメッセージ

NGO 職員2年目の私が感じていることは、とにかく「愛の心」を持つことが大切であるということです。愛の心で、共に平和な未来を築く仲間が増えると嬉しいです！

団体のアピール

PHD協会は設立から43年目を迎えました。コロナ禍以降は国内困窮外国人支援にも力を入れており、2020年度からシェアハウス「みんなのいえ」が始動しました。時代の変化に合わせた活動を展開しています。